

2021 年度 ANNUAL REPORT



公益社団法人 日本フィランソロピー協会 (JPA)

目次

2021 年度アニュアルレポート発行にあたって	3
はじめに	4
公益社団法人日本フィランソロピー協会（JPA）の歩み	6
▶フィランソロピー始動 30 周年記念事業	
フィランソロピー始動 30 周年記念シンポジウム・フォーラム	8
記念出版『共感革命～フィランソロピーは進化する』	9
▶出版事業	
機関誌『フィランソロピー』	10
▶研修事業	
定例セミナー	11
▶企業の CSR 支援事業	
従業員のボランティア・マッチングプログラム	
(1) ボランティア・マッチングサイト「ボランティアウェブ」	12
(2) 個別企業向けボランティアのコーディネート	14
従業員等の寄付マッチングプログラム「フィランソロピーバンク」	
(1) 非営利団体への寄付	15
(2) 奨学金プログラム（個人向け）	16
個別企業の社会貢献活動支援	17
助成支援	19
調査・報告書	19
▶顕彰事業	
「第 19 回企業フィランソロピー大賞」	21
▶共生社会づくり	
福島県郡山市委託事業「農福連携推進モデル構築事業」	22
2021 年度公益財団法人 JKA 補助事業連続セミナー	23
▶個人のフィランソロピー推進	
誕生日寄付	24
フィランソロピー名刺	25
資料編	
寄付先 NPO（2021 年度実績）	26
企業から NPO への物品寄贈「あげます・もらいます」	27
財務データ	28
会員数／役員	30

2021 年度アニュアルレポート発行にあたって

2011 年 3 月に東日本大震災が起こり、その後も異常気象が続き、自然災害が頻発しています。そして、あの震災から 10 年。世界中を混乱に陥れたコロナ禍は、いまだ収束を見せないままです。そんな中、2022 年 2 月にはウクライナ侵攻が始まりました。2011 年の震災は、VUCA の時代の始まりだったように思えます。そして今、公益社団法人日本フィランソロピー協会（JPA）のミッションである「民主主義の健全育成」という言葉の重さに、改めて身が引き締まり、その達成に向けた道筋の在り方をしっかりした軸として定めなければ、という思いに駆られております。

2021 年度は、今後の JPA の在り方を見据えるうえでの節目の年と位置付け、30 周年記念事業を行いました。記念出版『共感革命』の発行では、JPA の中で、そして、さまざまな関係者の方々との対話を興し、「人間としての共感」によるフィランソロピー推進の重要性を改めて確認しました。また、シンポジウムと各フォーラムでは、健全な民主主義育成に向けての実践について議論を深めました。その結果、次のことを再確認しました。フィランソロピーの主役は個人であること。良き社会づくりは個人の志と熱量で始まり、そして続くこと。もうひとつは、その実現のためには企業など組織の社会的資源が大きな推進力になること、です。

2021 年度の総括を踏まえ、今後は、以下の視点から事業を進めてまいります。

ひとつは、企業の従業員をはじめ個人の社会貢献活動をより推進することです。2021 年度は、従業員ボランティアへの参加が大きく伸びました。従業員参加が新たな気付きやイノベーションにつながるからです。また「誕生日寄付」事業では、企業との連携についても強化したいと考えております。

もうひとつは、フィランソロピー事業を面的に拡げていくことです。2021 年度で終了した福島県郡山市からの受託事業「農福連携推進モデル構築事業」を、全国の共生社会づくりに生かしてまいります。

スタッフともども「チーム JPA」として新たな可能性を探りながら、企業間やセクター間をつなぐコーディネーター役として、健全な民主主義社会づくりにつながる事業を推進してまいります。そんな決意を新たにしつつ、2021 年度アニュアルレポートをお届けいたします。

今後ともご協力・ご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2022 年 8 月 1 日

公益社団法人日本フィランソロピー協会（JPA）
理事長 高橋 陽子

はじめに

私たちは、性別、年齢、障がいの有無などに関係なく、社会を構成する個人が主体的に、生き生きと役割を果たす社会こそが真の民主主義社会であり、“個人フィランソロピー”はその原点であると考えています。

「行政依存型社会」から「市民自立型社会」へ社会システムが大きく変化し、第1セクター（行政）、第2セクター（企業）に比べて弱い存在であった第3セクター（NPO・NGO）がその存在価値を高め、市民の果たすべき役割も比重が増えています。

公益社団法人日本フィランソロピー協会（JPA）は、企業フィランソロピー活動の支援をはじめ、主体となる個人が「より良い社会創造のために自ら考え、助けあいながら、課題解決に向けて行動する」ための社会参加を促し、自由闊達で健全な民主主義社会の実現を目指します。

Philanthropy の語源：

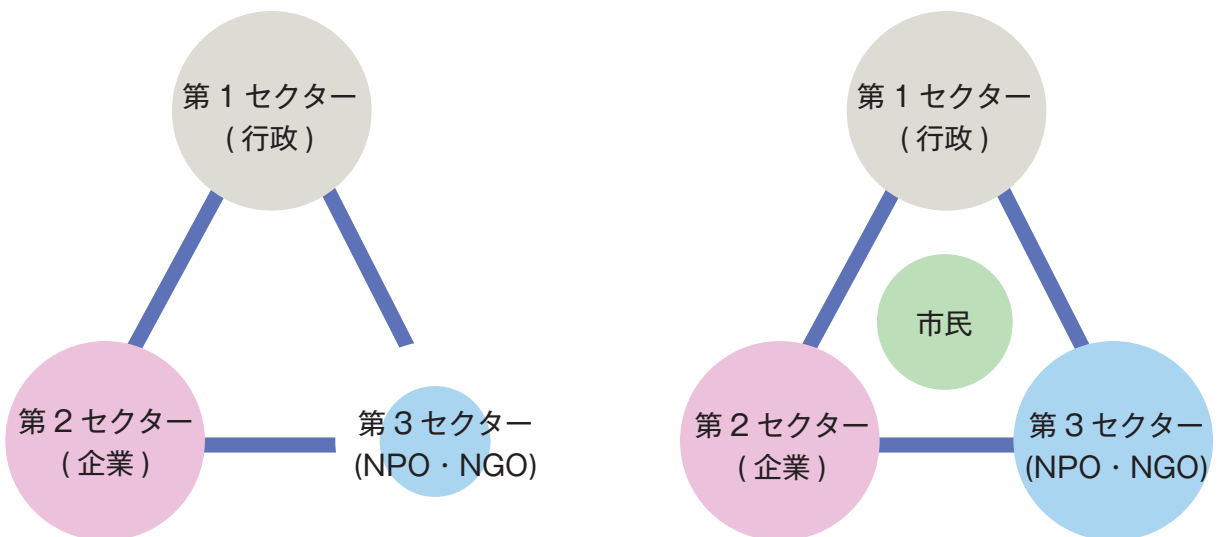
「フィランソロピー」とは、ギリシア語の「フィリア（愛）」と「アンソロポス（人類）」に由来する言葉で、「人類愛」「博愛」を意味します。

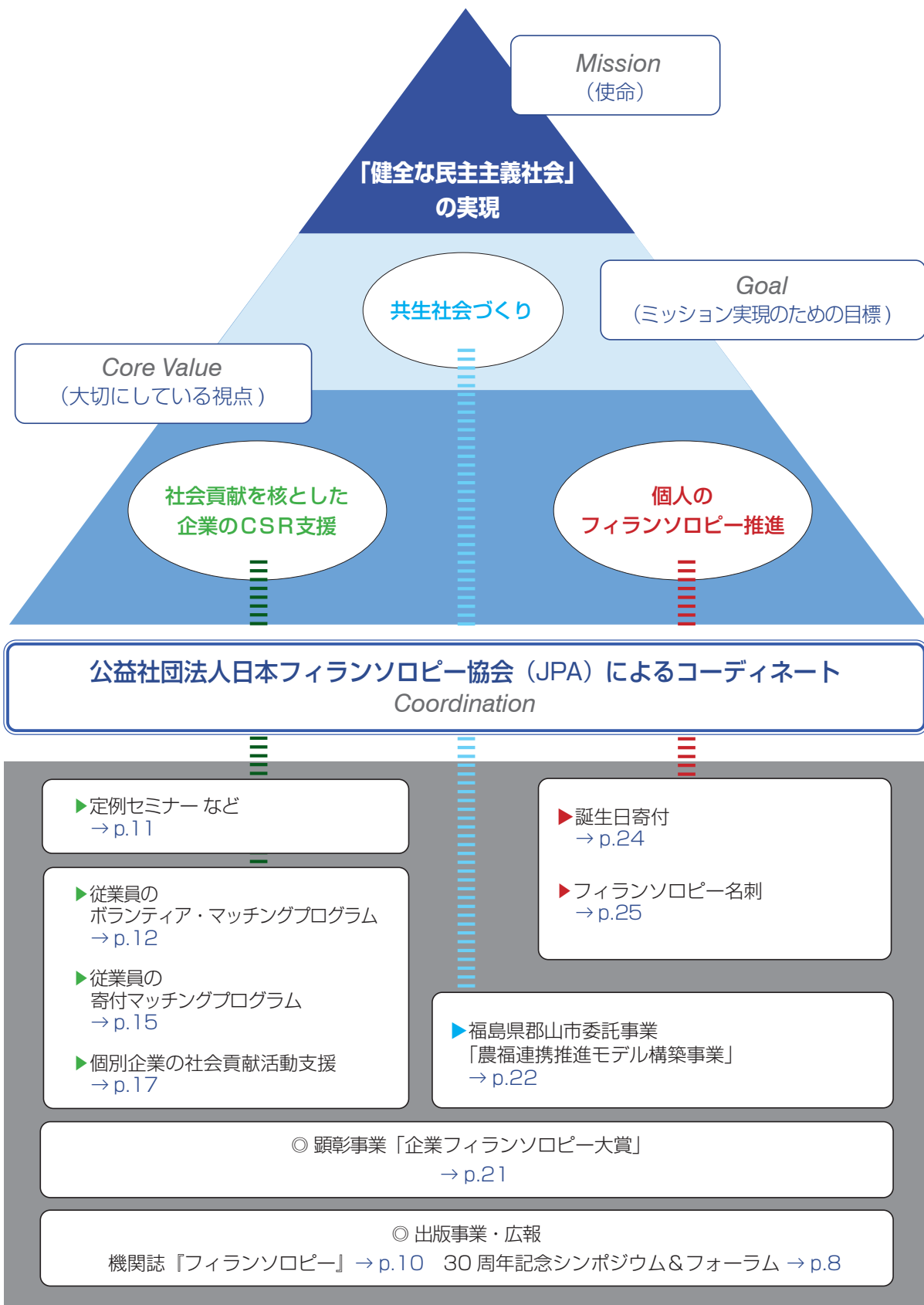
社会システムの変化

行政依存型社会



市民自立型社会





2007年 2008年 2009年 2010年 2011年 2012年 2013年 2014年 2015年 2016年 2017年 2018年 2019年 2020年 2021年 2022年以降

フィランソロピー
始動 30 周年

■顕彰事業「企業フィランソロピー大賞」

■従業員等の寄付マッチング・プログラム「フィランソロピーバンク」

■従業員のボランティア・マッチングプログラム
「ボランティアウェブ」

● NPO 支援「アメリカン・エクスプレス・リーダーシップ・アカデミー」

■寄付・募金を核にしたシティズンシップ教育

●「復興応援 キリン絆プロジェクト」

●「サントリー東北サンさんプロジェクト」
みらいチャレンジ（2021 年から）・チャレンジド・スポーツ支援事業

●福島県郡山市委
託事業「農福
連携推進モデル
構築事業」

■「誕生日寄付」

■フィランソロピー始動30周年記念シンポジウム・
フォーラム「健全な民主主義社会形成における
フィランソロピーの今後の役割」開催

■経営者向け
「エグゼクティブセミナー」
（2019年まで）

■「子どもの貧困を考える勉強会」
（2019年まで）

■「関西セミナー」開始

●災害時地域FM放送支援
●シニアのビジネススキルをNPOへ橋渡し
「NEC匠塾」開催（2016年まで）

■協働を目指す交流会「ストーンスープクラブ 開始」

新公益法人制度の下、公益社団法人として認定

●文化庁主催
「アート展・障害のある人による作品たち」開催



▲ISO26000発行

社会的責任に関する国際規定

▲東日本大震災発災

▲「国連持続可能な開発会議（リオ+20）」開催
地球サミットのフォローアップ会議として、環境・
貧困・災害などをテーマにした国連会議

▲国連で持続可能な開発目標（SDGs）制定

▲「パリ協定」発効

2020年以降の温室効果ガス排出削減等
のための新たな国際枠組み

▲Covid-19の世界的感染拡大

▲「2050年までに脱炭素社会を実現」
（菅総理所信表明演説）

1990年

1991年

国民政治研究会に「企業市民室」創設、企業フィランソロピー推進事業を開始

1992年

■シンポジウム『なぜフィランソロピーか』開催

1993年

1994年

「日本フィランソロピー協会」に改称

1995年

■避難所の運営

1996年

1997年

1998年

1999年

2000年

2001年

2002年

2003年

2004年

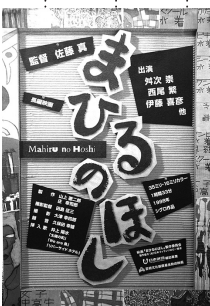
2005年

2006年

■定例セミナー（旧 企業の担当者向けセミナー）

■機関誌「フィランソロピー」（2012年まで『月刊フィランソロピー』）

■顕彰事業「まちかどのフィランソロピスト賞」



■知的障がい者のアートと暮らしを描くドキュメンタリー映画『まひるのほし』製作
■障がい者支援オンラインショップ「アニモショップ」開始（2012年まで）

■音訳サービス「声の花束」（2018年まで）

●全国ノーマライゼーション推進高山会議開催（岐阜県高山市共催）



▲フィランソロピー元年

「経団連1%クラブ」

「企業メセナ協議会」

「大阪「コミュニティ財団」の発足

▲地球サミット開催

ブラジル・リオデジャネイロで、環境と開発をテーマにした国連会議開催

▲阪神・淡路大震災発災・ボランティア元年

多くの一般人が、ボランティアとして参加

▲京都議定書採択

気候変動の国際的取り組み

▲NPO法制定

▲国連ミレニアムサミットでミレニアム開発目標

(MDGs) 制定

▲「CSR元年」

企業による不祥事の多発と自然環境の悪化により、経済同友会が企業白書でCSRに言及、多くの企業がCSR部署を整備

▲国際連合が責任投資原則打ち出す

(Principles for Responsible Investment)

《フィランソロピー始動 30 周年記念シンポジウム・フォーラム》

総合テーマ

「健全な民主主義社会形成におけるフィランソロピーの今後の役割」

JPA は、1991 年にフィランソロピーの推進を始動しました。以来、公益活動を行政だけに依存することなく、一人ひとりの市民が主体的に考え、自らの力で社会の課題解決のために参加・貢献することが、健全な民主主義社会を創るための基盤であるとの理念で事業を進めています。

2021 年に 30 周年を迎えたことを記念し、シンポジウムならびにフォーラムを開催しました。

▶ 記念シンポジウム



平野 啓一郎さん

日時：2021 年 10 月 21 日（木）14：00 ～ 17：00

会場：学士会館 ※オンライン形式で同時開催

第 1 部：基調講演「これからの民主主義社会創造のために」

平野 啓一郎 さん（小説家）

第 2 部：パネルディスカッション

「社会課題解決・新たな価値創造のために経済はどう貢献すべきか」

<パネリスト>

熊野 英介 さん

（アマタホールディングス株式会社代表取締役、
公益財団法人信頼資本財団理事長）

渋谷 健 さん

（シブサワ・アンド・カンパニー株式会社代表取締役、
コモンズ投信株式会社取締役会長）



渋谷 健さん



熊野 英介さん

<ファシリテータ>

河口 真理子 さん

（立教大学特任教授、不二製油グループ本社株式会社 CEO 補佐）



河口 真理子さん



▶ 記念フォーラム

第1回「組織の中で個人を生かす」

日時：2021年11月17日（水）15:00～17:00

開催方法：オンライン方式

プログラム：

■ 日本フィランソロピー協会の活動紹介「企業従業員のためのボランティアマッチング」

■ パネルディスカッション

パネリスト：嵯峨 生馬 さん（認定 NPO 法人サービスグラント代表理事）

パネリスト：濱松 誠 さん（ONE JAPAN 共同発起人・共同代表）

モデレータ：長島 剛 さん（多摩大学経営情報学部教授、JPA 理事）

第2回「誰も取り残さない社会の実現に向けて」

日時：2021年12月16日（木）15:00～17:00

開催方法：オンライン方式

プログラム：

■ 日本フィランソロピー協会の活動紹介「農福連携事業」

■ パネルディスカッション

パネリスト：村木 厚子 さん

（津田塾大学総合政策学部客員教授、元厚生労働事務次官、JPA 理事）

パネリスト：井村 良英 さん（認定 NPO 法人育て上げネット）

モデレータ：野澤 和弘 さん（植草学園大学副学長・発達教育学部教授、毎日新聞客員編集委員）

第3回「個人の寄付文化醸成に向けて」

日時：2022年1月20日（木）15:00～17:00

開催方法：オンライン方式

プログラム：

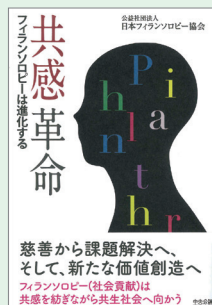
■ 日本フィランソロピー協会の活動紹介「誕生日寄付」

■ パネルディスカッション

パネリスト：奥田 知志 さん（認定 NPO 法人抱樸理事長、東八幡キリスト教会牧師）

パネリスト：米良 はるか さん（READYFOR 株式会社代表取締役 CEO）

モデレータ：山田 泰久 さん（一般財団法人非営利組織評価センター業務執行理事）



記念出版『共感革命～フィランソロピーは進化するか』

自然環境の劣化と、コロナ禍でさまざまな問題が噴出、顕在化するなかで、これからの新たな社会づくりのキーワードを「共感」と定め、共感を醸成する要因を多様な視点から紐解いた一冊。

- ・ 四六判、209 ページ
- ・ 発行：公益社団法人日本フィランソロピー協会（JPA）
- ・ 制作・発売：中央公論事業出版

出版事業

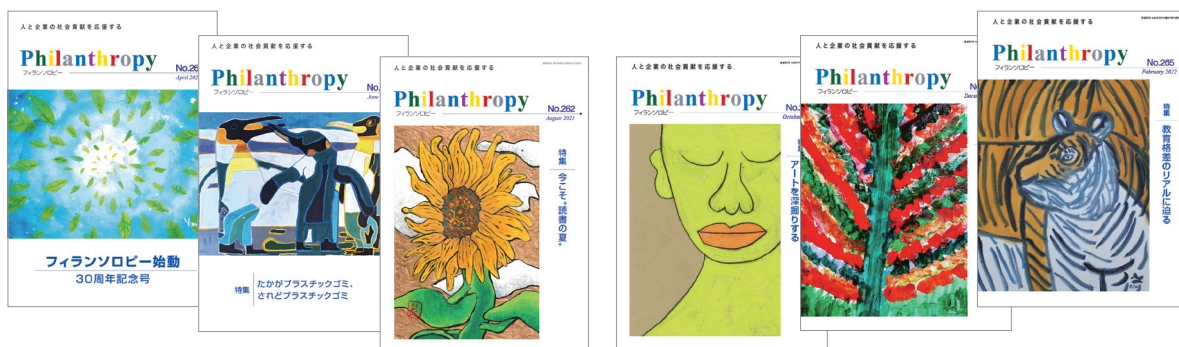
フィランソロピーを拡げる活動として
機関誌・書籍を発行しています。

機関誌『フィランソロピー』1992年創刊

<https://www.philanthropy.or.jp/magazine/>

機関誌『フィランソロピー』（隔月発行）では、社会課題を特集として企画。企業の先進事例や個人・NPOの活動を紹介しています。表紙には、障がいのある方々の多彩な作品を掲載しています。

※フィランソロピー名刺に一部作品をご利用いただけます。（詳細は p.25）



ホームページで、巻頭インタビュー全文をご覧いただけます。

2021年度 通号（発行月）	特集テーマ／巻頭インタビュー
No.260（4月号）	特集：フィランソロピー始動 30周年記念号 巻頭：民主主義の原点、分人、そして寄付について 平野 啓一郎さん（小説家）
No.261（6月号）	特集：プラスチックは叫ぶ「地球が危ない！」 巻頭：ゴミを通して、社会が見える。ゴミ清掃員を8年間続けてわかったこと 滝沢 秀一さん（お笑い芸人／ゴミ清掃員） 巻頭：科学技術の力で自然界に流出するゴミ問題を解決する「ピリカ」の挑戦 兒島 不二夫さん（株式会社ピリカ／一般社団法人ピリカ代表）
No.262（8月号）	特集：今こそ「読書の夏」 巻頭：一冊の本から始まる小さくて大きなムーブメント 熊谷 沙羅さん（Book Swap Chofu 川の図書館）
No.263（10月号）	特集：障がい者という枕詞を超えて、アートを深掘りする 巻頭：アートの力を新たな文脈で読み解く美術館の挑戦とは 保坂 健二郎さん（滋賀県立美術館ディレクター／館長）
No.264（12月号）	特集：スイーツで心も体も幸せに 巻頭：那須の「大きな食卓」に集う仲間と食をテーマに社会課題の解決を目指す 宮本 吾一さん（株式会社チャウス代表）
No.265（2月号）	特集：教育格差のリアルに迫る 巻頭：子どもたちには 本を読ませて 考えさせて 遊ばせて もっと自由にさせたい 安藤 忠雄さん（建築家）

研修事業

定例セミナー

主に企業の CSR・社会貢献担当者を対象に、SDGs や ESG などさまざまなテーマで、各分野で活躍する学術研究者や先進事例を有する企業担当者を講師に迎え、オンラインで開催しました。「CSR 基礎講座 2021」、フィランソロピー始動 30 周年を記念したシンポジウムやフォーラムを含め 12 回開催し、延べ 655 名が参加しました。

<https://www.philanthropy.or.jp/seminar/>

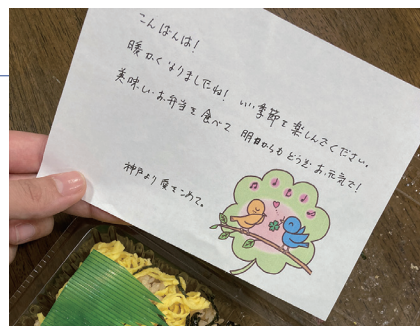
開催回・開催日	テーマ／講師
第 380 回 2021.4.23	CSR 基礎講座 2021 第 1 回「SDGs 経営時代の CSR とは」 ＜講師＞ 関 正雄さん（損害保険ジャパン株式会社サステナビリティ推進部シニアアドバイザー、 明治大学経営学部特任教授）
第 381 回 2021.5.20	CSR 基礎講座 2021 第 2 回「ソーシャルファイナンス、投資と寄付の根っこは同じ」 ＜講師＞ 河川 眞理子さん（不二製油グループ本社株式会社 CEO 補佐、立教大学特任教授）
第 382 回 2021.5.27	CSR 基礎講座 2021 第 3 回「ANA グループにおけるビジネスと人権の取り組みについて」 ＜講師＞ 菊池 俊介さん（ANA ホールディングス株式会社サステナビリティ推進部マネジャー）
第 383 回 2021.6.23	「パリ協定で始まった脱炭素時代への道筋において企業が実施すべき環境保護活動」 ＜講師＞ 山岸 尚之さん（公益財団法人世界自然保護基金ジャパン気候エネルギー・海洋水産室長）
第 384 回 2021.7.19	「ショウガイシャってなに？アートとデザインを起爆剤にした企業や社会とのコラボレーション」 ＜講師＞ Laila Cassim（ライラ・カセム）さん（一般社団法人シブヤフォントアートディレクター、 東京大学先端科学技術研究センター特任助教）
第 385 回 2021.9.16	「企業連携で社会課題を解決するには～連携の先進事例に学ぶ～」 ＜講師＞ 宮原 伸朗さん（アマタホールディングス株式会社未来デザイングループ グループリーダー）
第 386 回 2021.10.21	フィランソロピー始動 30 周年記念シンポジウム「健全な民主主義社会形成におけるフィランソロピーの 今後の役割」 基調講演「これからの民主主義社会創造のために」 ＜講師＞ 平野 啓一郎さん（小説家） パネルディスカッション「社会課題解決・新たな価値創造のために経済はどう貢献すべきか」
第 387 回 2021.11.17	フィランソロピー始動 30 周年記念フォーラム第 1 回「組織の中で個人を生かす」 ※協会活動紹介：企業従業員のためのボランティア・マッチング
第 388 回 2021.12.16	フィランソロピー始動 30 周年記念フォーラム第 2 回「誰も取り残さない社会の実現に向けて」 ※協会活動紹介：農福連携事業
第 389 回 2022.1.20	フィランソロピー始動 30 周年記念フォーラム第 3 回「個人の寄付文化醸成に向けて」 ※協会活動紹介：誕生日寄付
第 390 回 2022.2.21	「広がれ 深まれ 食支援の輪～支援の多様化に即した地域・セクター間の連携事例に学ぶ」 ＜講師＞ 平野 覚治さん（一般社団法人全国食支援活動協力会専務理事） 長迫 和宏さん（北九州市戸畑区役所総務企画課） 長谷部 敏朗さん（公益財団法人キューピーみらいたまご財団事務局長）
第 391 回 2022.3.23	企業従業員の社会参加意識についての調査結果報告会 ～ 7 社 1,626 名へのアンケート調査結果から～ ＜講師＞ 松本 祐一さん（多摩大学経営情報学部・総合研究所所長 特定非営利活動法人 NPO サポートセンター代表理事） 長島 剛さん（多摩大学経営情報学部教授、JPA 理事）

※第 386 回、第 387 回、第 388 回、第 389 回は 30 周年記念シンポジウム・フォーラムとして開催し、詳細は p8-9 で紹介しています。

企業の CSR 支援

社会貢献活動として
企業の従業員が参加する
プログラムを提供しています。

認定 NPO 法人抱樞が活動する
炊き出し弁当に手紙を添える
(在宅ボランティアの例)



従業員のボランティア・マッチングプログラム

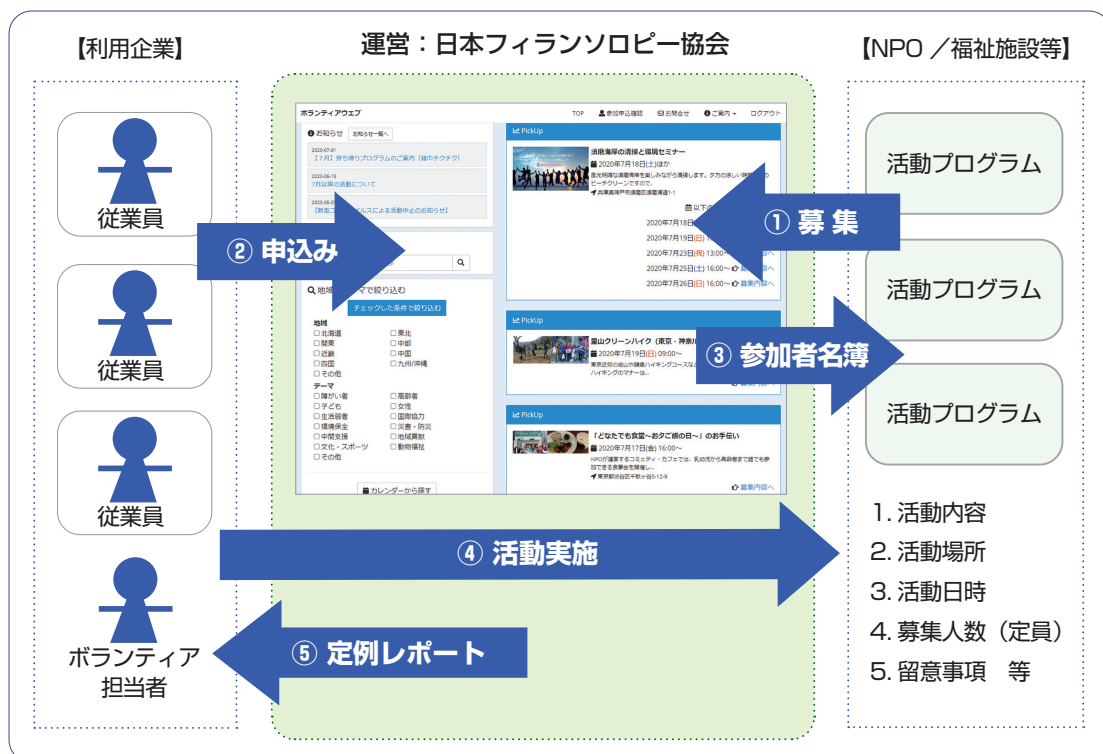
従業員の NPO 等へのボランティア参加を支援します。プログラム企画、受け入れ団体の紹介および調整、事前・事後研修、運営協力などを行ないます。

(1) ボランティア・マッチングサイト「ボランティアウェブ」

<https://www.philanthropy.or.jp/vweb/>

JPA 独自のボランティア・マッチングサイトです。従業員はウェブサイトから多様なボランティアプログラムを選び、直接申し込むことが出来ます。2021 年度は 13 社が利用し、のべ 2,958 名が参加。

「ボランティアウェブ」の利用イメージ



【ボランティアウェブの利用企業】(2021 年度)

■アサヒグループジャパン株式会社
■オリンパス株式会社
■カルビー株式会社
■サントリーホールディングス株式会社
■株式会社ジェーシービー
■ジョンソン・エンド・ジョンソン日本法人グループ
■積水ハウス株式会社

■第一三共株式会社
■パナソニック ホールディングス株式会社
■富士通株式会社
■株式会社ブリヂストン
■株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループ
■株式会社 LIFULL

(社名 50 音順)

現地での対面ボランティア

コロナ禍で中止されていた時期もありましたが、ビーチクリーン、路上生活者への声かけ支援など対面の活動も徐々に行なえるようになりました。



在宅ボランティア

団体発行の月刊誌バックナンバーのPDFデータをテキスト化、郵送で炊き出し利用者へのお手紙書きなどのほか、団体の広報ポスター作製などの活動を募集・実施しました。



★利用企業からコメントをいただきました！

当社は「世界の人々の健康と安心、心の豊かさの実現」を目指して、社員一人ひとりの自発的な社会参加を推進し、より広く社会に貢献できるよう 2021 年 12 月に「ボランティアウェブ」の導入を開始しました。

社内講演会で社会課題を「知る」機会、ボランティアウェブで「参加」機会を提供し、さらに体験を社内 SNS で「シェアする」サイクルを回し、多くの社員がボランティアに参加しています。

また、このような活動を通して、全国各地にいるオリンパスグループ社員が組織横断的に交流の機会や接点を持てるように働きかけ、コミュニケーション強化にもつなげていきたいと考えています。



オリンパス株式会社日本地域総括社会貢献部門 森本 唯 さん

★利用企業からコメントをいただきました！



富士通では、社員のボランティア活動の選択肢を広げ、参加者数を拡大することを目的にボランティアウェブを導入しました。初年度は 122 名がボランティアウェブから全国のボランティア活動に参加しました。現地参加の畑仕事や海岸清掃、在宅参加のお手紙書きや地図作成など、ライフスタイルに合わせたボランティアができると好評です。

今後もボランティアウェブの多様なボランティアの存在を多くの従業員へ届け、従業員一人ひとりが、地域社会や社外の方々と接し、会社では得られない知識や価値観を知る機会を提供したいと思っています。

富士通株式会社総務本部総務部 奈良部 光俊 さん

★受け入れ団体からコメントをいただきました！

プール・ボランティアは、障がい児にマンツーマンで水泳指導をしているスポーツ NPO です。2017 年からボランティアウェブによる企業社員ボランティアの受け入れをスタートし、地元大阪の企業だけでなく関東からの参加者もあり、とても喜んでいきます。気軽にプールに入ってもらい「こんな世界もあるんだなあ！」と思っていただけたら大成功だと思っています。

障がい児がイキイキと水泳を楽しんでいる姿を、ぜひご覧ください。年中ボランティア不足です。「あなたの参加をお待ちしております！」



認定 NPO 法人プール・ボランティア

(2) 個別企業向けボランティアのコーディネート

個別の企業向けに、ニーズに沿ったボランティアプログラムの企画や実施の支援を行ないます。

■ アクセンチュア株式会社

同社が毎月 1～2 回のペースで社員向けに行なう講演会やボランティア活動の開催支援をしています。多くの社員に社会課題へ関心を持っていただくよう、さまざまなテーマで活動する NPO と協働して開催し、毎回数十名の社員参加があります。この取り組みにより社会課題への理解促進、また同社から団体が抱える課題へのアイデア提供、寄付、物資支援、プロボノ支援などにつながっています。

2021 年度に協働した団体：

特定非営利活動法人幼い難民を考える会
ムリンディ・ジャパン ワンラブ・プロジェクト
タンザニア・ポレポレクラブ
特定非営利活動法人グッドネーバース・ジャパン
一般社団法人異言語 Lab.
特定非営利活動法人地域再生機構
特定非営利活動法人岡山マインド「こころ」
特定非営利活動法人 ESA アジア教育支援の会
特定非営利活動法人 ReBit

特定非営利活動法人日本レスキュー協会
特定非営利活動法人 D-SHIPS32
一般社団法人パイオニズム
特定非営利活動法人テラ・ルネッサンス
特定非営利活動法人キープ・ママ・スマイリング
特定非営利活動法人荒川クリーンエイド・フォーラム
特定非営利活動法人難民を助ける会
特定非営利活動法人ピースウィンズ・ジャパン
社会福祉法人共生会 SHOWA

テーマ：被災地・障がい者・生活困窮者支援、ダイバーシティ、地域創生、動物福祉、海外支援 等

■ クーパービジョンジャパン株式会社

8 月のボランティア月間に、視覚障害者支援のためのオンライン音声ガイドづくりを実施しました。



従業員等の寄付マッチングプログラム「フィランソロピーバンク」

企業や個人の寄付を非営利団体につなげたり、個人への奨学金として寄付しています。

(1) 非営利団体への寄付

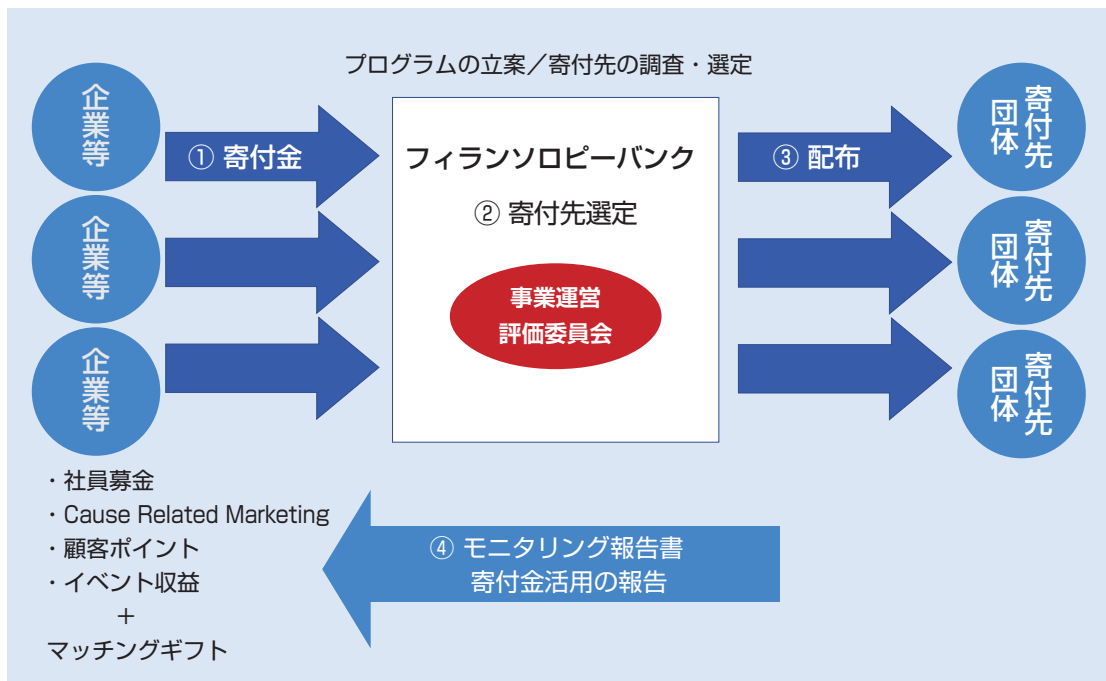
<https://www.philanthropy.or.jp/pb/>

2021 年度は、11 社が利用し、延べ 85 の非営利団体に寄付をしました。

総額 51,746,285 円

※寄付先については、資料編 p.26 ～ 27 をご参照ください。

フィランソロピーバンクの仕組み



★利用企業からコメントをいただきました！



地域に根差した金融機関であるゆうちょ銀行にとって、地域社会とのかわりはきわめて重要です。無通帳型総合口座「ゆうちょダイレクト+（プラス）」のご利用拡大などによる紙の使用量削減に取り組みながら、ゆうちょ エコ・コミュニケーションでは、地域社会・地域住民との相互コミュニケーションを深め、地域社会の持続的発展や生物多様性保全等の取り組みに貢献することを目指しています。ゆうちょ銀行は今後も、「最も身近で信頼される銀行」として、地域社会の皆さまとともに歩んでまいります。

株式会社ゆうちょ銀行 コーポレートスタッフ部門 広報部
担当部長 清家 智子 さん

フィランソロピーバンク利用企業

東京海上日動 あんしん生命保険株式会社	社員による募金、および代理店でのグッズ販売の一部を寄付金として拠出し、難病患者支援、認知症啓発に取り組む3団体に寄付金を配布。
東京海上日動 火災保険株式会社	従業員による募金制度である東京海上日動 Share Happiness 倶楽部の寄付金を8団体に配布。
TOYO TIRE 株式会社	環境基金として、環境問題に取り組む団体からの申請を公募し、選考の結果、13団体に助成。
日本ロレアル株式会社	従業員の募金による寄付金を、経済的困難を抱える女性を支援する4団体に配布。また、寄付金と相当額の商品を寄贈。
株式会社ファンケル	顧客からのポイント寄付を金額換算したものと社員からの募金を寄付金として拠出し、東日本大震災遺児奨学基金と全国15カ所の重度心身障がい児・者施設に配布。
株式会社ブリヂストン	従業員募金制度であるBSmile募金より、重点領域「Mobility（モビリティ）」、「People（一人ひとりの生活）」、「Environment（環境）」において社会課題の解決に取り組む9団体に助成。
ブリティッシュ・アメリカン・ タバコ・ジャパン合同会社	外国にルーツを持ち日本に暮らす、困難を抱える人々を支援することを目的に、子どもたちの学びの支援、難民認定申請者の支援などに取り組む5団体に寄付金を配布。
明治安田生命保険相互会社	「愛と平和のチャリティー・コンサート2020」による募金を寄付金として、東北3県で次世代育成の分野で活動する3団体に配布。
株式会社ゆうちょ銀行	紙使用量削減につながるサービスを利用した顧客の数に応じ寄付金を拠出し、環境分野において住民と共に課題解決に向けた活動をする13団体に寄付金を配布。
株式会社LIFULL	だれ一人取り残すことなく一人ひとりの“したい暮らし”を応援することを目的に、DVを受けている人々、虐待を受けている人々、難民、貧困により住生活に困っている人々を支援する10団体に寄付金を配布。

(2) 奨学金プログラム（個人向け）

<https://www.philanthropy.or.jp/anshin/>

■ 東京海上日動あんしん生命保険株式会社

2016年度より、社会貢献活動の一環として「遺児への教育・養育支援」を実施し、がんなどの疾病により保護者を亡くした子どもたちのために基金を設立。創立20周年記念「東京海上日動あんしん生命 奨学金制度」の公募、審査、給付金の配布を含む運営を支援しています。

★ 奨学金制度（給付型）

対象：疾病により保護者を失い、大学等への進学に経済的支援を必要とする方（年間30万円）

・2021年度は、前年度までに給付が決まった奨学生201名に、計6,030万円を給付。

・2021年7月より募集を開始した2022年度奨学生60名内定。

個別企業の社会貢献活動支援

■ 東日本大震災復興支援「サントリー東北サンさんプロジェクト」

(1) チャレンジド・スポーツ支援事業

<https://www.philanthropy.or.jp/suntory/06/>

2020 年度に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大のため活動ができない寄付先団体・個人からの要請があり、チャレンジド・アスリート奨励金の活用期間を 2021 年末までに再延長し、それによる寄付先団体・個人へのフォローを実施しました。

(2) みらいチャレンジプログラム

<https://www.philanthropy.or.jp/suntory/2022/>

「サントリー東北サンさんプロジェクト」の一環として、2021 年 2 月より新規スタート。岩手県、宮城県、福島県の地域の復興を目指して新たな活動を立ち上げようという個人・団体の活動を奨励金という形で支援します（2023 年までの 3 年間の実施予定）。

【第 1 期】応募件数：329 件

寄付先団体：40 団体（岩手県：13 宮城県：14 福島県：13）

寄付総額：総額約 4,000 万円

【第 2 期】2022 年 3 月 8 日より公募を開始

【第 1 期】寄付先団体の活動について（一部）

岩手県野田村／特定非営利活動法人風花

被災者・障がい者・地域住民の交流拠点となる

「Rokka（ろっか）」整備事業

老朽化した元保育所の屋根塗装工事とテラスの改修工事を実施し、その中に障がい者就労施設とカフェを整備。地域の交流の場となっています。



宮城県亘理町／高橋佳子

子どもの笑顔元気ミュージカル

被災地の子どもたちがプロの役者とともにオリジナルミュージカルの舞台を作り上げました。コロナ禍で制限される中、観客を4分の1に制限して開催しました。



福島県会津若松市／特定非営利活動法人はるなか

地元漆を活用した若手職人の生業づくりと

環境に優しい素材としての漆発信プロジェクト

15 年にわたって育成してきた漆の木から漆液を採取し、会津産漆を使った製品づくりを行いました。20 代を中心とした若手職人たちの新たな生業づくりのために活動中です。



■ アステラス製薬株式会社

難病等の疾患と向き合う患者会の組織としての安定性、持続性を確保するために、新たに始めた「患者会次世代リーダーのためのリーダーシップ・トレーニング」。マネジメントやコミュニケーションなどを専門とする4名の講師の協力を得て、9団体14名が参加し、年3回の研修会を実施しました。

■ 東京ガスグループ「森里海つなぐプロジェクト」

2017年度に始めた森、里、海をつなぐ環境保全の社会貢献活動。東京ガス顧客のポイント寄付と同社拠出金をもとに、6団体に寄付し、2回のアマモ場再生活動と1回の里山整備を実施。里山活動については同社社員24名が参加しました。一方、アマモの活動は社員数名とNPOスタッフのみで実施し、森の活動は中止となりました。

■ ブリティッシュ・アメリカン・タバコ・ジャパン合同会社

2022年1月に立ち上げた社会貢献プロジェクト「Ippukuプログラム」のキックオフイベント（オンライン）に海外ルーツの子ども、難民認定申請者を支援する4団体を推薦。団体の作成した動画の英訳、都立高校の入試問題に読み仮名を振る、などのボランティア活動を行ないました。

■ プロロジス株式会社「プロロジス就活応援奨学金」

児童養護施設等から進学し就職を目指す学生のための給付型奨学金「プロロジス就活応援奨学金」の支援を行いました。公募に向けた資料準備、関係団体等への告知、申請者審査を実施しました。

■ 大和ハウス工業株式会社「エンドレス募金」

従業員募金「エンドレス募金」寄付先団体の推薦を行ないました。

■ クラシエホールディングス株式会社「しるしの日募金」

従業員募金「しるしの日募金」寄付先団体の推薦を行ないました。

■ プルデンシャル ジブラルタ ファイナンシャル生命保険株式会社

オンラインセミナー登壇 NPO 団体の推薦を行ないました。

助成支援

■ 日本たばこ産業株式会社「SDGs 貢献プロジェクト」

格差是正・災害分野・環境保全の分野で活動する団体の事業に助成する SDGs 貢献プロジェクトの外部事務局として運営支援を行ないました。

■ 田辺三菱製薬「手のひらパートナープログラム」

難病の患者や家族の「生活の質（QOL）向上」のために、難病患者団体、支援団体が実施する活動への助成金プログラム。JPA はプログラムの設計・公募・審査を含む運営協力。第 10 期（2021 年度募集）は 16 団体に助成しました。また、助成団体間の情報交換や交流の機会として、活動報告会を毎年開催しています。

■ アステラス製薬株式会社「スターライトパートナー患者会助成金」

難病の患者会等を対象に、会の自立や持続的発展に資する活動に対する助成金制度（第 17 回）に審査員として参画しました。

調査・報告書

企業従業員の社会参加に関するアンケート調査

昨今、企業の従業員が NPO などの活動に寄付したり、ボランティアに参加することが増えてきたものの、その割合はまだ少ないのが実情です。JPA では、企業従業員の社会参加を促進させるための手がかりを得るべく、多摩大学総合研究所とともに、アンケート調査を実施し、活動の実態やその意識を明らかにすることにしました。

アンケート項目は、仕事への満足度ややりがい、ワークライフバランスの現実と理想、プライベートでの社会参加活動の状況、会社での社会参加活動の状況、会社の用意するプログラムの認知度、参加・不参加の理由、そして今後の参加意向などから構成しています。

▶ 調査の概要

目 的：企業従業員の社会貢献への参加の実態や意識に関する調査を実施し、その結果を各社と共有する。それによって、従業員の社会参加を促し、社会課題解決に向けた成果をあげるための仕組みづくりに資する。

主 催：公益社団法人日本フィランソロピー協会（JPA）

協 力：多摩大学総合研究所（松本祐一教授、長島剛教授）＜調査設計・分析＞

実施期間：2022 年 1 月 11 日～2 月 10 日

調査方法：WEB 入力式

参加企業・人数：7 社 1626 名（アマタホールディングス株式会社、カルビー株式会社、株式会社 J-オイルミルズ、住友金属鉱山株式会社、フィリップモリスジャパン合同会社、株式会社プロロジスほか（50 音順）

報 告 会：2022 年 3 月 23 日、オンライン開催

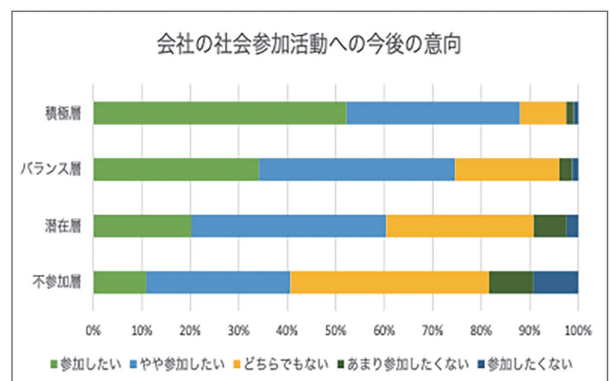
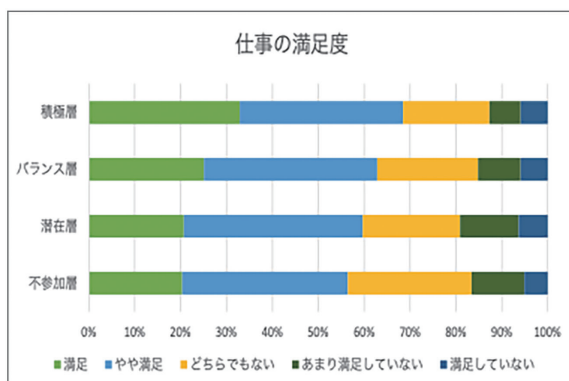
まず、「会社での社会参加」「プライベートでの社会参加」のそれぞれについて、積極性を基準に4つのタイプに分類し、その特徴をまとめました。

積極層は、仕事への満足度が高く、勤続年数が長い傾向にあります。子どもがいる人が多く、女性に多く見られます。社会課題への関心も高く、関心のある課題の数も多いことがわかりました。公私ともに何に対しても積極的な層となっています。バランス層は、やるべきことをこなし、社会参加の意欲も高いものの、その動機には義務に近いものを感じられます。したがって、今後の伸びしろはあまりないのではないかと推察されました。

潜在層は、社会貢献意識はあるものの、行動に結びついていません。ただ、好奇心が刺激され、仲間がいるなら、行動に結びつく可能性があるため、従来型の社会参加プログラムとは違う魅力のあるものが用意されれば、積極層に移行する可能性のある層だと考えられます。

不参加層は、公私ともに積極性が乏しく、仕事の満足度が低い傾向が見られます。社会参加できない何らかの理由がある可能性があり、社会参加を促すのがむずかしい層と思われます。

タイプ	特徴
積極層	会社中心にプライベートでも様々な社会参加を行っている層
バランス層	それぞれでバランスよく活動している層
潜在層	会社のプログラムにはほとんど参加していないが、プライベートでは活動している層
不参加層	どちらもほとんど参加していない層



今後の課題

今後の社会参加促進について、多摩大学総合研究所から次のような示唆がありました。

- (1) ライフスタイル、ワークスタイルの変化への対応：従業員のワークスタイルやライフスタイル全体に目を向けて、希望するスタイルの実現を支援する。
- (2) 若い世代（20～30歳代で、社歴が短い層）に対する対応：ほかの世代と違う反応が見られ、かつ潜在層が多いので、適切に対応すれば、社会参加のためのヒントを新たに見いだせる可能性がある。
- (3) 個人の社会貢献意識に頼りすぎない価値の構築：現状は、参加動機のほとんどが「社会に役立ちたい」という理由で占められているが、本当に社員は何を望んでいるのかを深掘りすれば、社会参加の新しい方向性が見つかる可能性がある。

今回の調査で社会参加を促す方策がすべて解き明かされたわけではありませんが、この結果を参考に、各企業が今後さらに充実した社会参加プログラムを立案されることを期待しています。また、JPAとしても、従業員一人ひとりの社会参加活動がより活発になるよう、魅力的なプログラムの開発や、より効果的な寄付やボランティア・マッチングの仕組みなどを提供していきます。

顕彰事業

第19回「企業フィランソロピー大賞」

2003年創設の「企業フィランソロピー大賞」は、社会課題のために、自社の経営資源（人材・ノウハウ・技術・情報など）を有機的・持続的に活用した企業の社会貢献活動を顕彰しています。規模に関係なく地域を越えて、さまざまな企業のCSR経営のヒントになることを願い、優れた企業を広く社会に発信することにより、公正で温もりと活力ある社会を次世代に伝える一助とします。第19回贈呈式は2022年5月16日に、学士会館（東京都千代田区）にて開催しました。

<https://www.philanthropy.or.jp/award/19/>



企業フィランソロピー大賞

サラヤ株式会社（大阪府大阪市）



代表取締役社長 更家悠介氏とともに

企業フィランソロピー賞（企業名 50 音順）

【ソーシャルプリンティング賞】	株式会社大川印刷	（神奈川県横浜市）
【おなか一杯幸せ賞】	西海みずき信用組合	（長崎県佐世保市）
【種まきセンチュリー賞】	住友商事株式会社	（東京都千代田区）
【絵本は心の薬賞】	日本新薬株式会社	（京都府京都市）
【未来をひらく女性賞】	メットライフ生命保険株式会社	（東京都千代田区）

選考委員 委員長 國部 克彦 神戸大学大学院経営学研究科長・経営学部長
井手 明子 東北電力株式会社・住友商事株式会社 社外取締役
佐藤 雄二郎 株式会社共同通信社 顧問
渋谷 健 コモンズ投信株式会社 取締役会長（敬称略・肩書は贈呈式時点のもの）

共生社会 づくり

社会の誰もが、かけがえのない存在として尊重される
「居場所と出番のある地域」づくりを目指します。

福島県郡山市委託事業 農福連携推進モデル構築事業

JPA は、2019 年 8 月から 2022 年 3 月にかけて、福島県郡山市からの委託を受け、農福連携推進モデルの構築に取り組みました。障がい者、ニートやひきこもりの人など、さまざまな理由で働きにくさを抱える人に対して、農業を通じて就労機会を提供し、ひいては地域住民や消費者の参画によって農業の再生や地域創生に寄与することを目指しています。

<https://www.philanthropy.or.jp/koriyama/>

● 農家と福祉団体との作業マッチング

参加農家 : 3 農家

参加福祉団体: 障がい者支援団体 10 団体

ニート・ひきこもり支援団体 1 団体

(上記のほか、相談・視察を随時対応)

取り扱い作物: スナップエンドウ、ピーマン、春菊、
ワイン用ブドウ、カブ、ニンジンなど

● 農福連携促進のための IT 活用支援

- ・電子「農作業日報」の本格運用開始
- ・SNS を活用して関係者同士がタイムリーに情報共有できる仕組みの提案と導入

● 農業就労サポーター育成研修のトライアル開催

農家の期待に福祉団体側が応えられる環境づくりのため、農業と福祉の双方と農福連携について学ぶ場を提供。

- ・座学研修 (オンデマンド配信・対面座学)
- ・実地研修 (対面座学+圃場研修)
- ・参加者: 農業者、福祉団体、ボランティア等

(監修: 豊田正博 兵庫県立大学大学院 緑環境景観
マネジメント研究科 教授)

● 先進事例視察

日 程: 2022 年 3 月 11 日 (金) ~ 3 月 12 日 (土)

視察先: 社会福祉法人白鳩会 (鹿児島県南大隅町)

目 的: さまざまな就労困難者の受け入れ体制と農福
連携作物のブランド化について学ぶため。



ピーマン収穫の様子 (希望ファーム圃場)



ニンジン収穫の様子 (まどか菜園圃場)



農業就労サポーター研修 (実地研修) の様子

2021 年度公益財団法人 JKA 補助事業連続セミナー 「社会課題のリアルを学ぶ～ NPO の活動を通して～」

慢性的な資金不足や人手不足という課題を抱える NPO のために、ボランティアなどを通じて、自らを役立てたいと願う企業人、シニア層が、社会貢献活動を始める前段階として、社会課題の実情を知る機会となるセミナーを企画。全 8 回（オンライン形式にて開催）。

参加者総数は 412 名。

<https://www.philanthropy.or.jp/jka/2021/series/>

第 1 回	若年女性支援からみえてきたこと ～若草プロジェクトの活動を通して～ 日時：2021 年 10 月 25 日（月）19:00～19:45 講師：村木 厚子さん（一般社団法人若草プロジェクト 代表およびかけ人 / 元厚生労働事務次官）
第 2 回	病気の子どもと家族への支援からみえてきたこと ～家族のための滞在施設とは～ 日時：2021 年 11 月 10 日（水）18:00～18:45 講師：谷畑 育子さん（特定非営利活動法人スマイルオブキッズ 事務局長）
第 3 回	居場所のない 10 代後半の子どもへの支援について ～子どもシェルターてんぼの活動を中心に～ 日時：2021 年 11 月 24 日（水）18:00～18:45 講師：特定非営利活動法人子どもセンターてんぼ 子どもシェルターてんぼ ホーム長 ※シェルターの特性上、危険回避のため、講師のご意向によりお名前は掲載いたしません。
第 4 回	病気や障がいのある子どもの「きょうだい」を応援する ～子どもが「子ども」でいられるように～ 日時：2021 年 11 月 30 日（火）18:00～18:45 講師：清田 悠代さん（NPO 法人しづたね 理事長）
第 5 回	多様性を認め合うことのできるより豊かな社会のために ～クライミングができること～ 日時：2021 年 12 月 17 日（金）18:00～18:45 講師：小林 幸一郎さん（NPO 法人モンキーマジック 代表理事）
第 6 回	水の世界もバリアフリーに ～障害者も健常者もともに楽しめるプールを実現したい～ 日時：2022 年 1 月 14 日（金）18:00～18:45 講師：岡崎 寛さん（認定 NPO 法人プール・ボランティア 理事長）・織田智子さん（同 事務局長）
第 7 回	子どもの包括的支援とその課題 ～宮城・石巻での実践から考える～ 日時：2022 年 2 月 7 日（月）18:00～18:45 講師：鈴木 平さん（特定非営利活動法人 TEDIC 代表理事）
第 8 回	外国にルーツを持つ子どもたちの学び ～多文化共生センターの活動を通して～ 日時：2022 年 2 月 24 日（木）18:00～18:45 講師：柘木 典子さん（特定非営利活動法人多文化共生センター東京 代表理事）

個人の フィランソロピー 推進

一人ひとりの市民が社会をつくる一員として、主体的に社会参加・社会貢献するフィランソロピー社会の実現を目指して、個人フィランソロピーを推進します。

Thanks Birthday & Happy Donation! 誕生日寄付

誕生日寄付とは…

<https://www.birthday-donation.jp/>

「与えられたいのちに感謝する日として、誕生日を少し違う発想で捉えなおし、「子どもたちの今を支え、未来に希望をつなぐ」ための活動です。誰にも平等にある、いのちを授かった日＝「誕生日」に、寄付をするという文化を醸成したいと考えます。

第3期（2021年4月1日～2022年3月31日）
寄付金額合計：3,513,578 円（寄付者数：172 名）

[カテゴリ別寄付金額]	① 生きるを支える	： 1,512,708 円
	② 育ちを支える	： 937,976 円
	③ 支える人を支える	： 1,062,894 円

「生きるを支える」

虐待や家庭崩壊などにより、帰る場所を失い、彷徨う子どもたちのいのちを守り、その子たちが社会で自立し、安心して暮らしてゆけるように、寄り添い・支える活動

- 社会福祉法人 カリヨン子どもセンター
- 一般社団法人若草プロジェクト

「育ちを支える」

貧困、いじめ、病気などにより長期欠席（不登校等）せざるを得ない子どもたち、様々な困難に直面する子どもたちへ学びの場や居場所を届け、育ちを応援する活動

- 特定非営利活動法人 TEDIC
- 認定特定非営利活動法人 ポケットサポート

「支える人を支える」

精神障がいやこころの不調を抱えた親をもつ子どもや、深刻な病気の子どもの「きょうだい」など、困難を抱える家族と暮らし、我慢を強いられている兄弟姉妹など家族を応援する活動

- 特定非営利活動法人 ぶるすあるは
- 特定非営利活動法人 しぶたね

「誕生日寄付」寄付者からのメッセージ

- ★ 2月の小学1年生の息子の誕生日に、息子と一緒に決めました。息子は「僕は毎日、暖かい布団から元気をもらっている」と言っており、活動してくださる皆さんが、彼にとっての布団のように、同じ年ごろの子どもたちに元気を与えてくださるといいなと思います。
- ★ コロナ禍が続く中、無事に誕生日を迎えることができました。今年も寄付に参加させていただきます。小さなことに感謝し、愛ある世界になりますように。
- ★ 今日、私の誕生日です。24歳になりました。24になっても祝ってくれる人が周りにいてくれて本当に幸せだなあと感じる中、お誕生日とは、楽しみで良い日であるべき特別な日なのにも関わらず、それどころじゃなく、お祝いもできない子がたくさんいると思ったら心が痛くてたまらなくなりました。

SDGs トレイン 2021

2020年9月からスタートした阪急電鉄・阪神電気鉄道・東急電鉄が運行するラッピング電車「SDGs トレイン」。2021年も引き続き「誕生日寄付」のポスターが掲出されました。



阪急電鉄〈神戸線・宝塚線・京都線〉、
阪神電鉄〈本線・なんば線〉は
「未来のゆめ・まち号」
東急電鉄〈東横線・田園都市線・世田谷線〉は
「美しい時代へ号」

フィランソロピー名刺

障がいや難病などハンディキャップのあるアーティストの作品を利用した名刺を制作・販売。名刺の受注で得た収益の一部を、アーティストや所属団体に還元。名刺の印刷も福祉作業施設に委託し、障がい者の可能性と経済的自立の支援につなげています。2021年度の制作件数は164件（前年度比49件増）。ウェブサイトの「作品カタログ」から作品を選び、お申し込みいただけます。

<https://www.philanthropy.or.jp/meishi/>

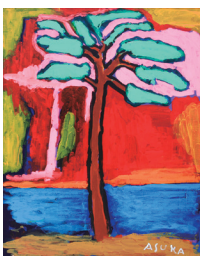


公益社団法人
日本フィランソロピー協会

谷村 節子

〒100-0004
東京都千代田区大手町2-2-1 新大手町ビル244
E-mail:
URL:

石橋 みゆき「コザクラインコのよもぎちゃん」



左より、
田崎飛鳥「希望の一本松」
TOM「にんじゃ」
杉田 大河「東京タワー」
佐々木 卓也「麦わら帽子の女性」

★アーティスト所属団体からコメントをいただきました！



所属アーティスト
石橋 みゆき さん

特定非営利活動法人アトリエ素心居（愛媛県松山市）は、障がいのある人の創作支援活動を通して理解を深めるための啓発活動をコンセプトに2001年7月に設立しました。「素心居」という名前には「飾りのない素のままの心で集える居場所」という意味が込められており、地域の居場所の役割も担いつつアートを通しての交流を行なっています。

アーティストが作品を通して人とつながることができるこの取り組みは大変ありがたく、アーティストともども喜んでおります。これからもこうした活動が広がることを期待しています。

特定非営利活動法人アトリエ素心居 代表 河部 宏子 さん

寄付先 NPO（2021 年度実績）

寄付者（法人）	寄付先団体	寄付者（法人）	寄付先団体
東京海上日動 あんしん生命保険株式会社	特定非営利活動法人 難病のこども支援全国ネットワーク 特定非営利活動法人認知症フレンドシップクラブ 特定非営利活動法人日本クリニックラウン協会	株式会社ファンケル	特定非営利活動法人 Solways 特定非営利活動法人あいの実 公益財団法人みちのく未来基金 特定非営利活動法人ままはーと 特定非営利活動法人合 社会福祉法人生活クラブ風の村 社会福祉法人滝乃川学園 社会福祉法人訪問の家（生活介護事業所 朋） 社会福祉法人長岡療育園 特定非営利活動法人ひろがり 社会福祉法人ヨゼフ会 社会福祉法人ぬくもり 社会福祉法人旭川荘 一般社団法人在宅療養ネットワーク 特定非営利活動法人 nicori 社会福祉法人キャンパスの会
東京海上日動 火災保険株式会社	特定非営利活動法人 わたりグリーンベルトプロジェクト 公益財団法人あすのぼ 特定非営利活動法人 D-SHIP32 特定非営利活動法人国境なき医師団日本 社会福祉法人全国盲ろう者協会 特定非営利活動法人 チャイルドライン支援センター 特定非営利活動法人ウォーターエイドジャパン 一般社団法人 JEAN	株式会社ブリヂストン	特定非営利活動法人「飛んでけ！車いす」の会 （任意団体）あじ島冒険乗校 特定非営利活動法人移動支援 Rera 特定非営利活動法人 3keys 特定非営利活動法人ユースコミュニティ 特定非営利活動法人 WELgee 一般社団法人ミナー 特定非営利活動法人ロクマル 特定非営利活動法人とりで
東京ガス株式会社	特定非営利活動法人 UMINARI 特定非営利活動法人緑の環・協議会 特定非営利活動法人 四街道プレーパークどんぐりの森 特定非営利活動法人いすみ竹炭研究会	ブリティッシュ・アメリカン・ タバコ・ジャパン合同会社	一般社団法人 kuriya 特定非営利活動法人多文化共生センター東京 特定非営利活動法人青少年自立援助センター NPO 法人アルベなんみんセンター 特定非営利活動法人にわたりの会
TOYO TIRE 株式会社	特定非営利活動法人ブリッジ エーシア ジャパン （任意団体）野遊びくらぶ NPO 法人三浦半島生物多様性保全 特定非営利活動法人ねっとわーく福島潟 特定非営利活動法人竹林救援隊 （任意団体）梅坪水辺愛護会 特定非営利活動法人百菜劇場 特定非営利活動法人自然と緑 （任意団体）山田の里グリーンクラブ NPO 法人武庫川 ECO-LABO 特定非営利活動法人アユートネットワーク 特定非営利活動法人環境とくしまネットワーク 一般社団法人 BC-ROBOP 海岸工学会	明治安田生命保険相互会社	一般社団法人三陸ひとつなぎ自然学校 公益社団法人こどもみらい研究所 特定非営利活動法人いわき緊急サポートセンター
日本ロレアル株式会社	一般社団法人 Colabo 特定非営利活動法人女性サポート大阪 特定非営利活動法人さんかくナビ 特定非営利活動法人 しんぐるまざあす・ふぉーらむ・福岡	株式会社ゆうちょ銀行	特定非営利活動法人シマフクロウ・エイド 特定非営利活動法人 わたりグリーンベルトプロジェクト 特定非営利活動法人足尾に緑を育てる会 特定非営利活動法人ふるさとの森づくりセンター NPO 法人暮らし・つながる森里川海 特定非営利活動法人かみえちご山里ファン倶楽部 特定非営利活動法人河北潟湖沼研究所 特定非営利活動法人サンクチュアリエヌビーオー 特定非営利活動法人加茂女 特定非営利活動法人西中国山地自然史研究会 特定非営利活動法人由良野の森 特定非営利活動法人おおいの環境保全フォーラム 特定非営利活動法人 おきなわグリーンネットワーク

寄付者（法人）	寄付先団体	寄付者（個人）	寄付先団体
株式会社 LIFULL	特定非営利活動法人子どもセンタービ・リーヴ 特定非営利活動法人ハーティ仙台 特定非営利活動法人ウィメンズハウスとちぎ 一般財団法人 JELA 特定非営利活動法人子どもセンターてんぼ 特定非営利活動法人子どもシェルターモモ 特定非営利活動法人反貧困ネットワーク広島 特定非営利活動法人ビビオ子どもセンター 特定非営利活動法人山口女性サポートネットワーク 一般社団法人白鳥の森	個人	特定非営利活動法人お金で学ぶさんすう 一般社団法人若草プロジェクト 社会福祉法人カリヨン子どもセンター 社会福祉法人 子供の家（アフターケア相談所「ゆずりは」） 特定非営利活動法人 TEDIC 認定特定非営利活動法人ポケットサポート 特定非営利活動法人いるか 一般社団法人北海道こどもホスピスプロジェクト 特定非営利活動法人ぶるすあるは 特定非営利活動法人しぶたね

（寄付者（法人）は 50 音順）

企業から NPO への物品寄贈「あげます・もらいます」

<https://www.philanthropy.or.jp/agemasu/>

企業から物品などの提供を受け、必要とする NPO へ橋渡しする「あげます・もらいます」事業を行なっています。2021 年度は、24 社からの提供品を 147 団体に寄贈しました。

2021 年度寄贈企業と物品の例

企業	寄贈物品
アクセンチュア株式会社	マスク、アルコール除菌ジェル
オーシャンネットワークエクスプレスジャパン株式会社	マスク、カラートレー
株式会社 J-オイルミルズ	自社商品
ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社	文具、サーモスボトル、モバイルチャージャー、コットンポーチ、バッグハンガー
住友商事株式会社	防災毛布
一般社団法人ゼブラ社会貢献支援協会	シャープペン、ボールペン
富士通株式会社	防災備品、給茶備品、事務用品、アイクール
三菱地所株式会社	レインコート、タブレット
楽天グループ株式会社	クリアファイル、ボール、スマホグッズ、トートバッグ、キーチェーン

財務データ

貸借対照表 (2022年3月31日現在)

一般会計

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現 金 預 金	69,332,795	26,045,600	43,287,195
普 通 預 金	68,404,446	25,189,475	43,214,971
郵 便 貯 金	928,349	856,125	72,224
未 収 金	21,007,087	19,971,632	1,035,455
未 収 消 費 税	0	487,600	△ 487,600
前 払 費 用	1,747,260	2,122,729	△ 375,469
仮 払 金	0	148,940	△ 148,940
貯 蔵 品	789,025	459,192	329,833
流動資産合計	92,876,167	49,235,693	43,640,474
2. 固定資産			
(1) 基 本 財 産			
基本財産合計	0	0	0
(2) 特 定 資 産			
役 員 退 任 慰 労 引 当 資 産	18,616,667	15,325,000	3,291,667
職 員 退 職 給 付 引 当 資 産	6,556,000	5,248,000	1,308,000
受 取 寄 付 金 資 産	61,242,298	120,936,703	△ 59,694,405
普 及 啓 発 事 業 等 積 立 資 金	0	35,349,789	△ 35,349,789
コ ロ ナ 経 営 安 定 化 資 金	13,096,494	13,096,494	0
特定資産合計	99,511,459	189,955,986	△ 90,444,527
(3) そ の 他 固 定 資 産			
建 物 附 属 設 備	2	2	0
什 器 備 品	85,244	219,005	△ 133,761
ソ フ ト ウ ェ ア	3,083,951	4,451,675	△ 1,367,724
電 話 加 入 権	4	4	0
其他固定資産合計	3,169,201	4,670,686	△ 1,501,485
固定資産合計	102,680,660	194,626,672	△ 91,946,012
資産合計	195,556,827	243,862,365	△ 48,305,538
II 負債の部			
1. 流動負債			
未 払 金	3,490,096	8,433,269	△ 4,943,173
前 受 金	2,695,000	205,950	2,489,050
預 り 金	773,481	914,717	△ 141,236
未 払 消 費 税 等	2,863,800	0	2,863,800
賞 与 引 当 金	2,802,500	2,299,167	503,333
流動負債合計	12,624,877	11,853,103	771,774
2. 固定負債			
役 員 退 任 慰 労 引 当 金	18,616,667	15,325,000	3,291,667
職 員 退 職 給 付 引 当 金	6,556,000	5,248,000	1,308,000
固定負債合計	25,172,667	20,573,000	4,599,667
負債合計	37,797,544	32,426,103	5,371,441
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産	61,242,298	120,936,703	△ 59,694,405
指定正味財産合計	61,242,298	120,936,703	△ 59,694,405
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(61,242,298)	(120,936,703)	(△ 59,694,405)
2. 一般正味財産	96,516,985	90,499,559	6,017,426
(うち基本財産への充当額)	()	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(13,096,494)	(48,446,283)	(△ 35,349,789)
正味財産合計	157,759,283	211,436,262	△ 53,676,979
負債及び正味財産合計	195,556,827	243,862,365	△ 48,305,538

正味財産増減計算書

(2021年4月1日から2022年3月31日まで)

一般会計

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受 取 会 費	20,514,000	19,684,000	830,000
正 会 員 受 取 会 費	6,840,000	7,110,000	△ 270,000
事 業 員 受 取 会 費	13,674,000	12,574,000	1,100,000
公 1. 社 会 貢 献 啓 発 事 業 収 益	70,636,059	56,708,139	13,927,920
公 2. 社 会 貢 献 促 進 事 業 収 益	511,096	228,475	282,621
公 3. 共 生 社 会 創 造 事 業 収 益	69,665,443	55,695,159	13,970,284
受 取 助 成 金	459,520	784,505	△ 324,985
受 取 寄 付 金	684,407	2,817,549	△ 2,133,142
受 取 利 息	188,598,914	194,037,406	△ 5,438,492
受 取 雑 収 入	53,328	2,349	50,979
受 取 雑 収 入	2,028	2,349	△ 321
受 取 雑 収 入	51,300	0	51,300
経 常 収 益 計	280,486,708	273,249,443	7,237,265
(2) 経常費用			
事 業 費	262,503,407	271,867,307	△ 9,363,900
(公1 社 会 貢 献 啓 発 事 業 費)	16,467,282	17,488,357	△ 1,021,075
(公2 社 会 貢 献 促 進 事 業 費)	239,240,328	245,531,948	△ 6,291,620
(公3 共 生 社 会 創 造 事 業 費)	5,076,016	6,258,905	△ 1,182,889
(公 益 共 通 事 業 費)	1,719,781	2,588,097	△ 868,316
管 理 費	11,965,875	11,232,319	733,556
経 常 費 用 計	274,469,282	283,099,626	△ 8,630,344
当 期 経 常 増 減 額	6,017,426	△ 9,850,183	15,867,609
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当 期 経 常 外 増 減 額	0	0	0
当 期 一 般 正 味 財 産 増 減 額	6,017,426	△ 9,850,183	15,867,609
一 般 正 味 財 産 期 首 残 高	90,499,559	100,349,742	△ 9,850,183
一 般 正 味 財 産 期 末 残 高	96,516,985	90,499,559	6,017,426
II 指定正味財産増減の部			
受 取 助 成 金	0	0	0
受 取 寄 付 金	128,543,376	200,686,925	△ 72,143,549
一 般 正 味 財 産 へ 振 替	△ 188,237,781	△ 290,123,228	101,885,447
当 期 指 定 正 味 財 産 増 減 額	△ 59,694,405	7,894,650	△ 67,589,055
指 定 正 味 財 産 期 首 残 高	120,936,703	113,042,053	7,894,650
指 定 正 味 財 産 期 末 残 高	61,242,298	120,936,703	△ 59,694,405
III 正味財産期末残高	157,759,283	211,436,262	△ 53,676,979

会員数／役員

会員数の推移

<https://www.philanthropy.or.jp/aboutus/membership/>

	2017 年度末	2018 年度末	2019 年度末	2020 年度末	2021 年度末
正会員（法人）	27	26	25	20	18
賛助会員（法人）	93	101	102	103	106
賛助会員（個人）	91	94	84	79	78

役員・顧問

<https://www.philanthropy.or.jp/aboutus/board/>

会長	浅野 史郎	元宮城県知事
副会長	田中 克人	一般社団法人心のふるさと創生会議理事長
● 理事長	高橋 陽子	
● 常務理事	牛尾 和弘	
理事	太田 達男	公益財団法人公益法人協会会長
理事	倉光 恭三	特定行政書士 倉光法務事務所代表
理事	河野 通和	編集者／京都橘大学客員教授
理事	佐藤 雄二郎	株式会社共同通信社顧問
理事	長島 剛	多摩大学経営情報学部教授
理事	永田 俊一	三菱 UFJ 信託銀行信託博物館館長
理事	板東 久美子	独立行政法人国立病院機構理事／日本赤十字社理事
理事	藤原 作弥	エッセイスト／元日本銀行副総裁
理事	堀田 力	公益財団法人さわやか福祉財団会長
理事	村木 厚子	津田塾大学客員教授／元厚生労働事務次官
理事	山崎 美貴子	東京ボランティア・市民活動センター所長
監事	奥川 貴弥	弁護士
監事	尾崎 輝郎	公認会計士
顧問	松岡 紀雄	神奈川大学名誉教授

（●印は常勤、2022 年 7 月 1 日 現在）

2021 年度 ANNUAL REPORT

2022 年 8 月 1 日 発行

発 行：公益社団法人 日本フィランソロピー協会（JPA）

〒 100-0004 東京都千代田区大手町 2-2-1 新大手町ビル 244

TEL：03-5205-7580

FAX：03-5205-7585

URL：<https://www.philanthropy.or.jp>

<https://www.facebook.com/philanthropy.or.jp/>

<https://twitter.com/JPNphilanthropy>

お問い合わせはこちらへ



（最寄駅）

● JR「東京駅」丸の内北口より徒歩 5 分

● 地下鉄「大手町駅」B3 出口直結

（東京メトロ 丸ノ内線／千代田線／東西線／半蔵門線、都営地下鉄 三田線）